



園長コーナー

引地 美津代

かえで保育園 2年目の最終月3月になりました。

24年度、先生たちは「振り返り」というキーワードで一つひとつの取り組みを振り返りながら保育に携わってきました。

23年度に行った保育や行事は、保護者の方々のアンケートをもとに、日にちの設定、参加者、行事の内容を検討してきました。

良いところは残し、改善するところは、ご意見の多かった内容に変えてみるという形で保護者の方々のご意見をできる限り反映できるように進めてきました。

今回のせいちょう発表会も乳児の内容や、会場設営、子供らしさを最大表現できる内容等も検討して行ってきました。

かえで保育園の方針として、『やらせる内容ではなく、子どもたち主体で』『できる限り、普段通りの姿で、子どもが考えた事をそのまま伝えること』と前提に保育者がまとめてきました。

この時期にたくさんの方の前で緊張することが必要な年齢は2歳児以上でよいのでは？また、保護者の方から離れて泣いてしまいながら演技をすることは必要ではないのでは。という考えの基に進めてきました。中には、もっと子供の演技を観たかった。楽しみにしていたのが何も見れなかったのは残念。というお声もありましたが、子どもたち主体で過ごした保育園生活の発表としての会にご理解いただければ嬉しいです。

さて3月は、酒蔵見学、お別れ遠足、移行保育と毎日いろいろな楽しい遊びを考えています。

秋に皆で植えた花の芽もどんどん伸びてきました。玉ねぎや、イチゴもしっかり根付いてき、皆で声をかけながらきれいに咲く日や収穫できる日を楽しみにしています。

先日、給食で出たみかんがとてもおいしく「育てたい」と大事にしていた種を、植木鉢や裏の花壇に植え「僕が6年生になったら食べに来るわ～」と言ってくれました。しっかり育てて思い出と一緒に帰ってきてほしいなと思います。

今年もだいちぐみ12名の子どもたちが卒園間近となりました。

昨年、ひかり組の時、まだまだ自分の思いが伝えられず、もじもじしたり、黙って下を見つめたりしていた春、だいちさんのお泊り保育を「いいな～」と羨ましく思っていた夏、運動発表会や成長発表会では、人数の少ないだいちさんをお手伝いしながら、いつの間にか自分たちも思いを人に伝えられるようになっていきました。

だいちになって、夙川までお花見、川添公園にはいぶきさんの手を引いて頑張りました。待ちに待ったお泊り保育では自分たちで食材を選び、買い物して朝食の準備づくり、園外のたくさん公園にも出かけ、11月、松秀幼稚園との交流会も仲間に入り広い園庭でリレーも体験しました。

そして、せいちょう発表会では、だいちのキーワード「挑戦する」で、今一番頑張ること。やりたいことに取り組み、保護者の皆さんに披露することができました。

こうしてしっかり自分を知り、自分らしさを表現できるようになって卒園してくだいちさん。

これからの世界でも「自分」を大切に一步一步しっかりと歩いてほしいと願っています。

おしらせ



<おしらせ>

- 3月 1日(金) 3~5歳児で酒蔵見学に行きます。
- 3月 4日(月) ひなまつりをお祝いします。

- 3月19日(火) お別れ遠足に出かけます。
全園児お弁当日となっています。詳細は後日お知らせします。

- 3月23日(土) 第2回卒園式です。
ひかり組はだいち組の門出を一緒にお祝いします。
めばえ~いぶき組は家庭保育にご協力お願いします。

- 3月30日(土) 新年度準備と職員会議を行います。
家庭保育にご協力よろしくをお願いします。

- 3月11日~15日は新入園児さんの面接を行います。

<おねがい>

- 進級移行のため、3月25日よりお部屋の移動があります。
朝の準備や荷物の置き場所、帰る用意等を各クラスよりお伝えしていきますので、確認していただきますよう、お願いします。

<4月の予定>

- 4月1日(月)は入園式・進級式を10時から行います。

<子育て支援コーナー>

★3月の予定

21日(木)に絵本読み聞かせがあります。(パネルシアター)
申し込みは不要です。

○絵本コーナー○

「もしもしモモン」 著者 瀧川光治・駒田賢一

この絵本は大学生の時に、大学の先生からいただいた絵本です。主人公のモモンガのモモンは、村の連絡係のお父さんがケガをしてしまったのをきっかけに、家にいても連絡できる方法はないかと探します。そこで、糸電話を見つけて、糸はすぐに切れたり、ピンと張らないと声が聞こえないことに気づきます。そこから試行錯誤を繰り返すうちに、最後にはホースが1番いいということにたどりつきます。子どもたちは、何か困ったことがあったとき、これはどうかな、あれはどうだろうと自分たちで考えながら問題を解決しようとしています。この絵本を読むと、自分で考えることの楽しさに気付くことができると思います。私もそんな子どもたちのお手伝いが出来ればいいなと思っています。



りょうりのへやから



ようやく春の日差しがちらちらと垣間見えるようになってきました。もう3月ですね！去年の4月に入園した子どもはかえで保育園に通ってもう1年が経とうとしています。

最初は恥ずかしがっていた子どもたちも今ではたくさんのお友達ができ、にこにこしながらみんなで大変楽しんでます。もちろん、お昼のご飯もりもり食べてくれています！だから、食事を作る量も1年たっですいぶん増えました！嬉しい限りです！子どもの成長はすごいですね！

来月からはよいよ学年がひとつ上がります！

子ども達もワクワクしながら春を待っているように見えますが、お母さんたちもこれからの成長がさらに楽しみになりますね！

こうして少しドキドキしながら迎える春、3月と言えばひなまつり。

ひなまつりではひな壇に雛人形を飾って、桃を飾って、菱餅を飾って。

と、なんとなく飾っていたものが多いのですがなんで飾っているのだろうと感じ、今回はその中でも菱餅に焦点を当てて調べてみました。

菱餅といえば、ピンク、白、緑、この3色の色が使われます。ひな祭りといえばこのような色使いというのがごく定着していて、すぐに思い浮かぶ色ですよ。ひなあられでも袋を開けてみればこのような色使いのあられがいっぱい入っています。

では、なぜこの3色なのでしょう？

調べてみると3色の意味にも諸説ありますが、参考にしたほとんどのものが次のような意味として載っていました。

●赤(ピンク) 山梔子(クちなシの実) 入り

魔除けの意味をもち、イメージは桃の花

●白 菱の実入り

子孫繁栄、長寿の意味を持ち、イメージは純白の雪

●緑 蓬入り

厄除けの意味をもち、イメージは健康、新緑

また、実は3色を重ねる順番によって連想させる春の情景も次のようなイメージで表しているといわれています。

- ・下から緑・白・赤の順番で、“雪の下には新芽(蓬)が芽吹き、桃の花が咲いている”
- ・下から白・緑・赤の順番で、“雪の中から新芽(蓬)が芽吹き、桃の花が咲いている”

いかにも春を連想させるものなんですね！！

今までなんとなくひな壇に飾っていたものですが、昔の人はこうやってひとつひとつに意味をこめて春の訪れをお祝いしていたのかもしれないね。そう感じながら眺めるひな壇はまた違って見えるかもしれません。

皆さんも保育園で飾られるひな人形に目を向けてみてください。

児嶋 亜季



子どもたちの様子

めばえ



あっという間に1年が過ぎ、めばえ組で過ごす時間も残り1カ月となりました。

4月からはふたば組となって新しいお友達や先生と過ごすこととなります。

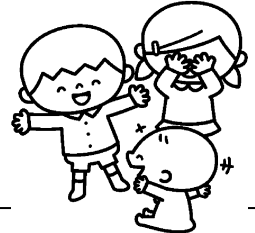
突然の変化に戸惑わないように、来年度に向けての準備を少しずつ始めています。今までは食事の時間は基本的に先生と1対1で過ごし、子どもの1人ひとりと向き合って丁寧に関わっていました。ですが、少しずつ自分でできるが増えてきて、先生が手伝うとお叱りを受けることも…お皿の上を滑っていく丸い大豆にやきもきしたり、フォークの間をすり抜けていくうどんを悔しそうに見つめたりと、傍で見ているともどかしくて思わず手伝ってしまいそうになりますが、ぐっところえて見守る毎日です。

「自分でやりたい！がんばるから見ていてね！」という好奇心と意欲に満ちたまなざしがとても心強いです。今の時期にやりたいことができなくて試行錯誤したり、できるけれどちょっぴり甘えてみたりという経験は自立への一歩でもあります。成長を共に喜びながら、温かく見守っていきたいと思っています。

めばえ組として過ごす残りわずかな時間ですが、子ども達の輝く笑顔が少しでもたくさん見られるように、楽しく過ごしていきたいと思います。

西村 由貴

ふたば



せいちょう発表会にはたくさんの方に足を運んでいただきありがとうございました。

子ども達の普段の姿を見ていただけたでしょうか。私自身とても緊張しソワソワしていたのですが、前に立った時に保護者の方々に笑顔を頂き、子どもたちの日頃の姿を何とか伝えることができました。

二月は、節分・せいちょう発表会と行事がたくさんありました。節分の豆まきでは、事務長先生ふんする鬼に少し怖がりながらも保育者と一緒に豆まきをしたり、鬼の絵本やうたをたくさん歌いお家でも歌を歌っていると聞き嬉しくなりました。

二月に入り、つぼみ組へ遊びに行く時間を設けました。このおもちゃは何かな？これはどうやって遊ぶのかな？と表情は少し険しいですが「先生あったよ～」と自分の好きなものを見せてくれます。初めてつぼみ組へ行こうと言った時は「つぼみ組って何？」という感じで二階へ上って心なしか周りをキョロキョロ。どこに行くんだろう…という感じだったようですが、今では自分達から行きたい！！と言ってくれます。

この一年間、保護者の方々にたくさん励まされ、子どもたちとともに園生活を楽しく遅れました。暖かく見守っていただきありがとうございました。大きくなったふたばさん・つぼみさんでも個性豊かな子どもたちでいてくださいね。

筒井 若菜

つぼみ



せいちょう発表会にご参加くださり、どうもありがとうございました。

つぼみぐみ、オリジナルの『がらがらどん』はいかがでしたか？がんばって披露できた子、緊張して固まってしまった子、様々でしたが、それぞれ子どもたちなりに、緊張しながらも頑張っていましたね。たくさんいる大人の前に出ることは、普段保育者やお友だちの前に出ることとはまた違った緊張感が生まれるものです。そんな中でも、大好きなお父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんに見守ってもらいながら、がんばって披露してくれたつぼみの子たちをみて、私も1人ひとりの成長した姿に胸が熱くなりました。発表会がおわったあとでも、「が～たごとがたご～と～♪」とがらがらどんの歌を口ずさんでいる姿がよく見られます。またみんなで『がらがらどんごっこ』ができれば、と考えています。

さて、つぼみぐみでの生活も残りあと1か月となりました。夕方の時間に幼児クラスの部屋で遊ぶようになり、つぼみぐみには無いおもちゃで遊ぶことも楽しいようです。少しずつ、次のクラスへの意識ができてきているようで「いぶきぐみさんなる！」と言う姿もみられるようになりました。幼児クラスとの交流も増やしていき、いぶきぐみへ少しずつ移行していきたいと思えます。

※お知らせ

移行にむけて、食事・おやつの口拭きタオルを3月からは使わなくなります。ご協力お願いいたします。

工藤 千尋

いぶき・ひかり・だいち



先月のせいちょう発表会は異年齢グループでの取り組みを見ていただきましたが、

年少児に教えてあげる姿が見られたり、かえで保育園らしく、その瞬間までなにがとびだしてくるかわからないというスリル？に緊張しながらも、いつもの子どもたちの姿をご覧いただけたかと思えます。

まだまだ、保育を進めていく中での課題はたくさんありますが、それぞれの良いところを残しつつ、次年度へとつなげていきたいと思っています。たくさんの拍手をありがとうございました。

今月は新しいクラスへの移行と進級する期待をもって過ごしていきます。

だいち組から、園のリーダーになるための心構えをきいて、新だいち組となるひかり組。今まで付いていってばかりだったのに、連れて行く立場へと変わるいぶき組。「だいち組になったら、内緒がいっぱいあるから（だいちだけの行事が多いことだと思います）早くなりたい！」「お泊まり保育したい！」の憧れから、「つぼみさんに教えてあげる！」「もう〇〇組になるしね！だから～することなんて簡単！」と、ひとつ大きくなることを自覚し、自身を奮い立たせています。

そして、今までたくさん遊んでくれただいち組になにかプレゼントをしようか・・・と子どもたちと話し合ったところ、「いつでも思い出せるようにみんなの写真は？」「じゃあカメラも！」「きれいなお花がいい！」たくさんの意見ができました。2年間一緒にいたお兄さん、お姉さんたちの存在の大きさを感ずることができました。

だいち組は、これまでたくさんの方に「挑戦」してきました。苦手なことも、初めてすることも、繰り返すことも、みんながいたからできたのだと思います。卒園しても、その挑戦する心は忘れないでほしいと願います。保育園を離れることがさみしい・・・と言葉で言える子どももいれば、ぺったりくっついて不安を紛らわせている子どももいます。もちろん早く小学校へ行きたい！という子もいます。それぞれの思いを受け止めて心の準備も一緒にしていきたいと思えます。

※卒園式後からクラス移行が始まります。ロッカー移動等ありますので、持ち物の記名の確認をよろしくをお願いします。

中山 英子



3月の行事予定

1	金	酒蔵見学	16	土	
2	土		17	日	
3	日		18	月	避難訓練
4	月	ひなまつり	19	火	おわかれ遠足
5	火		20	水	春分の日でお休み
6	水	巡回指導・体育遊び	21	木	
7	木	絵画指導	22	金	
8	金	誕生会	23	土	卒園式
9	土	新入園説明会	24	日	
10	日		25	月	保育移行期間
11	月	絵画指導	26	火	体育あそび
12	火		27	水	
13	水	体育遊び・月例健診	28	木	
14	木		29	金	
15	金	絵画指導	30	土	25年度準備
			31	日	